

## 第9章 本社工場会計

ひとつの企業内において、本社と工場をそれぞれ独立させて会計を行うやり方。(決算時には工場分もまとめて本社が決算書を作成する。)

(問題) 本社と工場が独立して会計処理を行っている。次の取引について、本社と工場の仕訳をしなさい。材料は工場の倉庫に直接納入される。工場で製造された製品は完成後直ちに本社に搬送され、本社にて保管される。材料費、給料などの支払いはすべて本社が行う。仕訳不要の場合は「仕訳なし」と記入すること。

- (1) 材料 5,000 円を掛けで購入し、その材料が工場の倉庫に納入された。
- (2) 工場従業員へ給料 2,800 円を現金で支給した。
- (3) 当月、工場に納入された材料費 3,000 円を消費した。
- (4) 当月に消費した工場での直接労務費は 2,000 円であった。
- (5) 当月の機械の減価償却を行った。減価償却費は 4,800 円である。
- (6) 製品 3,500 円が完成し、本社の倉庫に搬送・保管された。

(解答)

### 【工場の仕訳】

- (1) 材料 5,000 / 本社 5,000
- (2) 給料 2,800 / 本社 2,800
- (3) 仕掛品 3,000 / 材料 3,000
- (4) 仕掛品 2,000 / 賃金 2,000
- (5) 製造間接費 4,800 / 本社 4,800
- (6) 本社 3,500 / 仕掛品 3,500

### 【本社の仕訳】

- (1) 工場 5,000 / 買掛金 5,000
- (2) 工場 2,800 / 現金 2,800
- (3) 仕訳なし
- (4) 仕訳なし
- (5) 工場 4,800 / 減価償却費累計額 4,800※
- (6) 製品 3,500 / 工場 3,500

※機械(資産)は本社で管理(計上)されているため